

<横浜市議員 古川なおきの活動報告>

古川レポート

第5号(2000年3月1日)

発行:古川レポート編集部

横浜市旭区中希望が丘 252-50

TEL391-4000 FAX366-9700

E-mail : naoki@s-direct.com

横浜市議員

古川なおきのメッセージ

市政報告(三月)



少々ご無沙汰しておりましたが、皆様におかれましてはご健勝にてお過ごしのこととお慶び申し上げます。

二〇〇〇年は私にとって市議員活動五周年という節目の年です。今後も益々がんばりますのでよろしくお願いいたします。

さて、只今横浜市会では平成十二年度予算の審議が行われています。横浜市は一般会計予算で一兆三四二億円、特別会計と公営企業会計の合計で三兆一六四九億円という大規模な予算ですが、市会ではこれを予算特別委員会で審査し、三月二十四日の本会議で最終的に議決します。私は今回の予算特別委員会では二回質問に立ち、経済局では中小企業金融対策やIT産業の市内集積について、また、衛生局には医療の安全管理や動物保護について質問をしました(詳細は次号に)。

来月からは介護保険がスタートします。介護を保障で賄う事が本来の目的ですが「限られた財源」の中から福祉に多くの予算を配分しなければならなかったため、多くの税金が必要になります。そこで私は横浜市の経済を活性化させ、企業からより多くの税金をいただきこれを福祉にまわすことが有効な施策だと考えます。「福祉政策」は「経済政策」である事を常に意識したいと思えます。

ところで私の選挙公約であった「図書館の祝日開館」が四月より実現します。また「光害調査費」も環境保全局の予算に盛り込むことができまし

た。ご承知の通り政治家は何でも「自分がやった」と手柄のように言いますが、議院内閣制の国会と違い市会では行政のチェック機能であるため、行政が発案し実施する施策が多いのが現状です。有権者の皆様にはぜひ真実を見極める目を持っていただきたい。私は小さな事でも一つ一つ実現できるように努力していきたいと思えます。そして行政だけに任せるのではなく自ら様々な政策を提言できる議員になりたいと思えます。そこで、最近の私の関心事を次に挙げてみました。

- 1 介護保険(円滑な実施)
- 2 教育問題(諸問題の現状把握と改革)
- 3 小学校からの英会話教育の導入
- 4 IT関連企業の集積(ベンチャー中小企業の育成)
- 5 二〇〇〇年ワールドカップの全市的な盛り上げと身近なスポーツ施設の整備

少々大げさかもしれませんが、私は「横浜市は株式会社である」という経営感覚をもって活動していきたいと考えています。ぜひ皆様のご意見をお聞かせ下さい。

○古川なおきプロフィール○

昭和43年8月横浜生まれ31才
 県立希望ヶ丘高校・明治大学卒業
 横浜銀行勤務後、議員秘書となる
 平成7年横浜市議員初当選
 現在2期目
 自民党横浜市議員団に所属
 旭区サッカー協会顧問
 旭区スポーツダンス協会顧問
 (社)日本動物福祉協会横浜支部長
 希望ヶ丘高校同窓会「桜蔭会」評議員
 横浜青年会議所
 好きな食べ物:カレー・サンマー麺
 好きなスポーツ選手:中田英寿
 好きなアーティスト:サザンオールスターズ
 趣味:サッカー・卓球・読書
 特技:街頭演説・各種宴会の司会

「古川レポート」購読者拡大キャンペーン中!!

「古川なおきを応援しているあの人にこのレポートを見せたい!」という方がいらっしゃいましたらどんどんコピーしてお配り下さい!